



Docket No.: U1100.0001/P001
(PATENT)

#3

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE **RECEIVED**

In re Patent Application of:
Tomoo Ooishi

Application No.: 10/040,382

Group Art Unit: 2176

Filed: January 9, 2002

Examiner: Not Yet Assigned

For: CONTENTS INSPECTING SYSTEM AND
CONTENTS INSPECTING METHOD
USED THEREFOR

APR 30 2002

Technology Center 2100

CLAIM FOR PRIORITY AND SUBMISSION OF DOCUMENTS

Commissioner for Patents
Washington, DC 20231

Dear Sir:

Applicant hereby claims priority under 35 U.S.C. 119 based on the following prior foreign application filed in the following foreign country on the date indicated:

Country	Application No.	Date
Japan	2001-002000	January 10, 2001

In support of this claim, a certified copy of the said original foreign application is filed herewith.

Dated: April 26, 2002

Respectfully submitted,

By _____
Steven I. Weisburd

Registration No.: 27,409
DICKSTEIN SHAPIRO MORIN &
OSHINSKY LLP
1177 Avenue of the Americas, 41st Floor
New York, New York 10036-2714
(212) 835-1400
Attorneys for Applicant

RECEIVED'S

APR 30 2002

Technology Center 2100

日本特許庁

JAPAN PATENT OFFICE

APR 26 2002

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日

Date of Application:

2001年 1月10日

出願番号

Application Number:

特願2001-002000

出願人

Applicant(s):

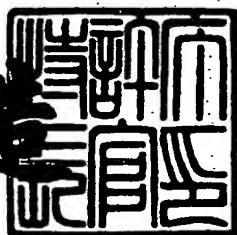
エヌイーシーアクセステクニカ株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年12月14日

特許長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願
【整理番号】 01702848
【提出日】 平成13年 1月10日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G06F 3/00
【発明者】
【住所又は居所】 静岡県掛川市下俣800番地 静岡日本電気株式会社内
【氏名】 大石 智雄
【特許出願人】
【識別番号】 000197366
【氏名又は名称】 静岡日本電気株式会社
【代理人】
【識別番号】 100088812
【弁理士】
【氏名又は名称】 ▲柳▼川 信
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 030982
【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9003474
【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンテンツ閲覧システム及びそれに用いるコンテンツ閲覧方法

【特許請求の範囲】

【請求項1】 サーバに蓄積されかつ少なくともHTML(hyper text markup language)データからなるコンテンツを端末装置で閲覧するコンテンツ閲覧システムであって、

前記コンテンツの概要を説明するための音声データ及び前記音声データを指定する専用タグが記載されたコンテンツを格納する格納手段を前記サーバに有し、

前記サーバから読み出したコンテンツにおける前記専用タグの有無を判定する判定手段と、前記判定手段で前記専用タグが有ると判定された時に前記専用タグに対応する音声データを前記サーバからダウンロードする手段と、前記コンテンツの再生時に前記専用タグに応答して前記音声データの再生出力を行う手段とを前記端末装置に有することを特徴とするコンテンツ閲覧システム。

【請求項2】 前記サーバからダウンロードする音声データは、前記コンテンツに依存した部分のみとし、その他の汎用的な情報を共通音声データとして前記端末装置に予め搭載するようにしたことを特徴とする請求項1記載のコンテンツ閲覧システム。

【請求項3】 前記ダウンロードした音声データを蓄積する手段と、前記共通音声データを予め蓄積する手段とを含むことを特徴とする請求項2記載のコンテンツ閲覧システム。

【請求項4】 サーバに蓄積されかつ少なくともHTML(hyper text markup language)データからなるコンテンツを端末装置で閲覧するコンテンツ閲覧方法であって、

前記コンテンツの概要を説明するための音声データ及び前記音声データを指定する専用タグが記載されたコンテンツを前記サーバに格納しておき、

前記サーバから読み出したコンテンツにおける前記専用タグの有無を判定するステップと、前記専用タグが有ると判定された時に前記専用タグに対応する音声データを前記サーバからダウンロードするステップと、前記コンテンツの再生時に

前記専用タグに応答して前記音声データの再生出力を行うステップとを前記端末装置に有することを特徴とするコンテンツ閲覧方法。

【請求項5】 前記サーバからダウンロードする音声データは、前記コンテンツに依存した部分のみとし、その他の汎用的な情報を共通音声データとして前記端末装置に予め搭載するようにしたことを特徴とする請求項4記載のコンテンツ閲覧方法。

【請求項6】 前記ダウンロードした音声データを第1の蓄積手段に蓄積し、前記共通音声データを第2の蓄積手段に予め蓄積するようにしたことを特徴とする請求項5記載のコンテンツ閲覧方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はコンテンツ閲覧システム及びそれに用いるコンテンツ閲覧方法に関し、特にPC(パーソナルコンピュータ)等のインターネット端末装置におけるコンテンツの閲覧に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、この種のインターネット端末装置では、PC等でブラウザソフトウェアを動作させることで、サーバに蓄積されたホームページのコンテンツをインターネットを介して閲覧することが可能となっている。

【0003】

現在、インターネット端末装置としては、上記のPCのほかに、テレビ受像機や専用端末等があるが、それ以外にも携帯電話端末等の小型機器でもコンテンツの閲覧が可能となってきている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来のインターネット端末装置では、閲覧可能なコンテンツがどのようなコンテンツなのかをそのページで説明しているコンテンツが少なく、スムーズにコンテンツを閲覧することができない場合が多くあり、特にインターネッ

トに不慣れなユーザは戸惑ってしまう。

【0005】

また、仮に文字でコンテンツの概要を説明していたとしても、その場合には文字による説明となるため、文字が多くなり、コンテンツが分かりにくくなってしまう。

【0006】

さらに、現状のブラウザソフトウェアで音楽データ等のバイナリコンテンツをダウンロードすることが可能となっているが、インターネットの閲覧をスムーズに行えることを目的とした音声データのダウンロードには対応していない。

【0007】

そこで、本発明の目的は上記の問題点を解消し、コンテンツの概要を容易に理解することができ、スムーズにコンテンツを閲覧することができるコンテンツ閲覧システム及びそれに用いるコンテンツ閲覧方法を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明によるコンテンツ閲覧システムは、サーバに蓄積されかつ少なくともHTML (hypertext markup language) データからなるコンテンツを端末装置で閲覧するコンテンツ閲覧システムであって、

前記コンテンツの概要を説明するための音声データ及び前記音声データを指定する専用タグが記載されたコンテンツを格納する格納手段を前記サーバに備え、

前記サーバから読出したコンテンツにおける前記専用タグの有無を判定する判定手段と、前記判定手段で前記専用タグが有ると判定された時に前記専用タグに対応する音声データを前記サーバからダウンロードする手段と、前記コンテンツの再生時に前記専用タグに応答して前記音声データの再生出力を行う手段とを前記端末装置に備えている。

【0009】

本発明によるコンテンツ閲覧方法は、サーバに蓄積されかつ少なくともHTML (hypertext markup language) データからなるコンテンツを端末装置で閲覧するコンテンツ閲覧方法であって、

前記コンテンツの概要を説明するための音声データ及び前記音声データを指定する専用タグが記載されたコンテンツを前記サーバに格納しておき、

前記サーバから読み出したコンテンツにおける前記専用タグの有無を判定するステップと、前記専用タグが有ると判定された時に前記専用タグに対応する音声データを前記サーバからダウンロードするステップと、前記コンテンツの再生時に前記専用タグに応答して前記音声データの再生出力を行うステップとを前記端末装置に備えている。

【0010】

すなわち、本発明のコンテンツ閲覧システムは、コンテンツの説明用音声データをサーバに用意し、HTML (hypertext markup language) 上で専用タグを使ってその音声データを指定することによって、ユーザがブラウザ機能を使ってそのコンテンツにアクセスした際に、端末が専用タグを解釈し、自動的に音声データをダウンロード、再生する。これによって、ユーザがコンテンツの説明を音声で確認することが可能となる。

【0011】

また、サーバからダウンロードする音声はコンテンツに依存した部分のみとし、その他のジャンルや更新日時等の汎用的な情報は共通音声データとして端末に予め搭載しておくことで、タグ解釈時にそれらの固定音声を再生することが可能となる。

【0012】

【発明の実施の形態】

次に、本発明の一実施例について図面を参照して説明する。図1は本発明の一実施例によるインターネット閲覧システムの構成を示すブロック図である。図1において、本発明の一実施例によるインターネット閲覧システムはオペレーション制御部（以下、オペ制御部とする）1と、ブラウザ2と、表示部3と、ネットワーク層管理部4、12と、通信デバイス5、13と、メモリ6と、共通音声データ部7と、システム管理部8と、音声制御部9と、スピーカ10と、HTTP (hypertext transfer protocol) サーバ11とから構成されている。

【0013】

インターネット端末装置は上記の構成要素のうち、オペ制御部1と、ブラウザ2と、表示部3と、ネットワーク層管理部4と、通信デバイス5と、メモリ6と、共通音声データ部7と、システム管理部8と、音声制御部9と、スピーカ10とから構成されており、これらの構成要素を含むものであれば、PC（パソコン用コンピュータ）、テレビ受像機、専用端末、携帯電話端末等であってもよい。

【0014】

オペ制御部1はユーザがインターネット端末装置の操作を行うためのものである。ブラウザ2はソフトウェアからなり、図示せぬCPU（中央処理装置）が実行することで、HTTPサーバ11から受信したHTML等で作成されたコンテンツを解釈して処理し、表示部3に表示する。

【0015】

ネットワーク層管理部4及び通信デバイス5はブラウザ2とHTTPサーバ11との間でHTTPの通信を行う際の下位レイヤである。メモリ6はHTTPサーバ11からダウンロードした音声データ[ADPCM (Adaptive Differential Pulse Code Modulation) 等]を保存するためのものであり、共通音声データ部7には予め端末側で用意している共通音声データが蓄積されている。

【0016】

システム管理部8はブラウザ2や音声制御部9等のインターネット端末装置内の各部の動作の仲介を行う。音声制御部9はHTTPサーバ11からダウンロードした音声や共通音声データ部7に蓄積された共通音声を再生し、スピーカ10から出力する。

【0017】

HTTPサーバ11はHTML等で作成されたコンテンツ14や音声データをインターネット端末装置に配信する装置であり、ネットワーク層管理部12及び通信デバイス13はHTTPサーバ11の下位レイヤである。コンテンツ（HTML）14はHTTPサーバ11上に置かれており、音声データ15はコンテンツ14の概要を説明するためのものである。

【0018】

図2及び図3は本発明の一実施例によるインターネット閲覧システムの動作を示すフローチャートである。これら図1～図3を参照して本発明の一実施例によるインターネット閲覧システムの動作について説明する。

【0019】

ユーザがインターネット端末を操作し、インターネットアクセス操作を行うと（図2ステップS1）、それらの操作はオペ制御部1を通してブラウザ2に通知され（図2ステップS2）、ブラウザ2はネットワーク層管理部4及び通信デバイス5を通して、HTTPサーバ11にHTMLドキュメントの取得を要求する（図2ステップS3）。

【0020】

HTTPサーバ11ではインターネット端末装置からの要求を受けると（図2ステップS4）、コンテンツ（HTMLデータ）14を読み出してネットワーク層管理部12及び通信デバイス13を通してインターネット端末装置に送信する（図2ステップS5）。ここで、ネットワーク層管理部4、12及び通信デバイス5、13の下位レイヤの構成や動作は公知であるので、その構成や動作の説明は省略する。

【0021】

ブラウザ2は受信したコンテンツ（HTMLデータ）14を解釈し、コンテンツ14の概要説明用の専用タグの判別を行い（図2ステップS6）、専用タグがなければ（図2ステップS7）、ブラウザ2は受信したコンテンツ14の内容にしたがって端末画面（表示部3）にコンテンツ14の表示を行う（図2ステップS8）。

【0022】

ブラウザ2は専用タグがあれば（図2ステップS7）、HTTPサーバ11にコンテンツ概要説明用の音声データ15の取得要求を送る（図2ステップS9）。HTTPサーバ11はコンテンツ概要説明用の音声データ15の取得要求を受けると（図3ステップS10）、指定されたコンテンツ概要説明用の音声データ15を読み出し、ブラウザ2に送信する（図3ステップS11）。

【0023】

ブラウザ2側ではコンテンツ概要説明用の音声データ15を受信すると（図3ステップS12）、その音声データ15をメモリ6に格納する（図3ステップS13）。続いて、ブラウザ2はHTMLデータの内容にしたがって端末画面（表示部3）にコンテンツ14の表示を行うが（図3ステップS14）、それと同時に、専用タグに記述されたジャンル、更新日時等の汎用情報を読み出し、その内容にしたがって音声再生要求をシステム管理部8に順次発行する（図3ステップS15）。

【0024】

ブラウザ2は汎用情報の音声再生要求の送出に続いて、ダウンロードした音声データ15の再生要求を発行する（図3ステップS16）。ブラウザ2から発行された音声再生要求はその都度、システム管理部8を通して音声制御部9に通知される（図3ステップS17）。

【0025】

音声制御部9では受信した音声再生要求にしたがって共通音声データまたはダウンロードしたコンテンツ概要説明用の音声データ15を共通音声データ部7及びメモリ6から読み出し、スピーカ10から順次再生出力を行う（図3ステップS18）。以上の動作によって、コンテンツ14の概要を示す音声データ15を取得し、音声にてコンテンツ14の概要を再生することが可能となる。

【0026】

図4は本発明の一実施例によるコンテンツ概要説明用の音声データ15の専用タグ例を記述したHTMLデータを示す図である。図4において、<HTML>及び</HTML>のタグで挟まれている部分がコンテンツ14であり、<HEAD>及び</HEAD>のタグで挟まれている部分がコンテンツ14の名称であり、<BODY>及び</BODY>のタグで挟まれている部分がコンテンツ14の本体部分である。

【0027】

ブラウザ2ではHTTPサーバ11から読み込んだコンテンツ14のHTMLデータ（上記の本体部分）を解析し、その解析において専用タグを見つけると、つ

まり「<専用タグ SRC="gaiyou.adpcm" hinf1="computer" hinf2="music" hinf3="mp3" hinfdate="2000/10/26">」を見つけると、以下の動作を行う。

【0028】

ブラウザ2はSRC属性で指定されているコンテンツ概要説明用の音声データの要求を行い、HTTPサーバ11から音声ファイルをダウンロードする。続いて、ブラウザ2は汎用情報(hinf1～hinf3)の内容を読み出し、その内容にしたがって共通音声データの再生要求を行う。

【0029】

また、ブラウザ2はダウンロードした概要説明用音声データの再生要求を行い、更新日時(hdate)を読み出し、その内容にしたがって更新日時の再生要求を行う。上記の手順によって、汎用情報、ダウンロードデータ、更新日時が音声で再生される。

【0030】

上記の専用タグ例を再生した場合の音声サンプルを以下に示す。汎用情報部分は「このホームページはコンピュータ、音楽、mp3（エムピースリー）に関するページです。次にホームページ作成者による説明をお聞きください。」となり、ダウンロード部分は「このホームページではmp3（エムピースリー）ファイルの作成方法や著作権に関する詳細な情報を扱っています。また、情報交換用の掲示板もありますのでご利用ください。」となり、更新日時部分は「最終更新日は2000年10月26日です。」となる。

【0031】

このように、ユーザはコンテンツ14の概要を音声で確認してからコンテンツ14を眺めることができるので、スムーズにコンテンツ14を閲覧することができる。また、音声でコンテンツ14の概要を聞くことができるので、インターネットに不慣れなユーザにも親しみ易い。

【0032】

さらに、コンテンツ14の概要を音声データ15としてダウンロードして再生

することによって、コンテンツ14上から文字による概要説明を削除することができる、それによってコンテンツ14が見易く、分かり易くなる。

【0033】

さらにまた、ジャンル、更新日時等の汎用情報を共通音声データとして予めインターネット端末装置に搭載することによって、ダウンロードする情報量を少なくすることができる。

【0034】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、サーバに蓄積されかつ少なくともHTMLデータからなるコンテンツを端末装置で閲覧するコンテンツ閲覧システムにおいて、コンテンツの概要を説明するための音声データ及びその音声データを指定する専用タグが記載されたコンテンツをサーバに格納しておき、サーバから読み出したコンテンツに専用タグが有ると判定された時にその専用タグに対応する音声データをサーバから端末装置にダウンロードして再生出力することによって、コンテンツの概要を容易に理解することができ、スムーズにコンテンツを閲覧することができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施例によるインターネット閲覧システムの構成を示すブロック図である。

【図2】

本発明の一実施例によるインターネット閲覧システムの動作を示すフローチャートである。

【図3】

本発明の一実施例によるインターネット閲覧システムの動作を示すフローチャートである。

【図4】

本発明の一実施例によるコンテンツ概要説明用の音声データの専用タグ例を記述したHTMLデータを示す図である。

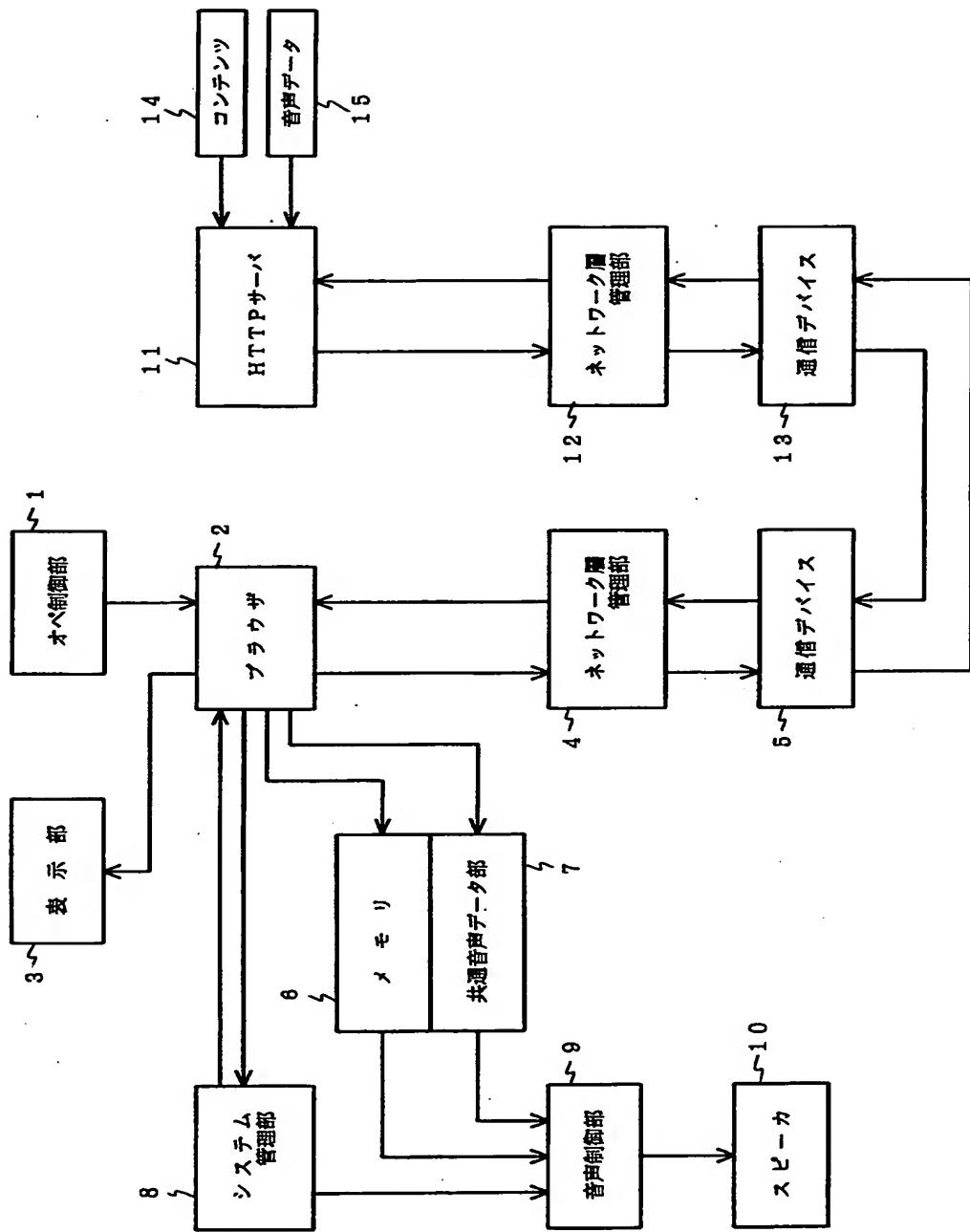
【符号の説明】

- 1 オペレーション制御部
- 2 ブラウザ
- 3 表示部
- 4, 12 ネットワーク層管理部
- 5, 13 通信デバイス
- 6 メモリ
- 7 共通音声データ部
- 8 システム管理部
- 9 音声制御部
- 10 スピーカ
- 11 H T T P サーバ
- 14 コンテンツ
- 15 音声データ

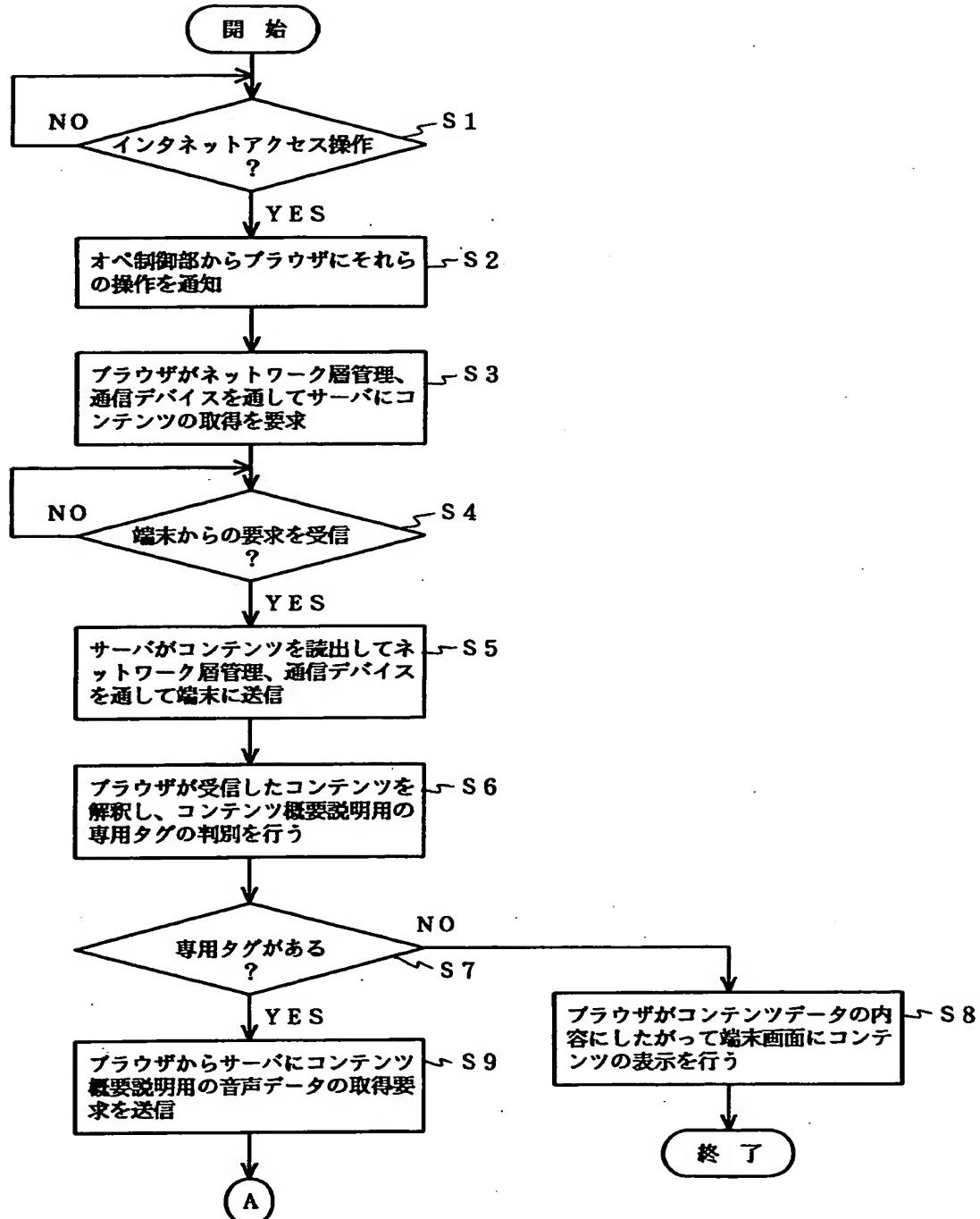
【書類名】

図面

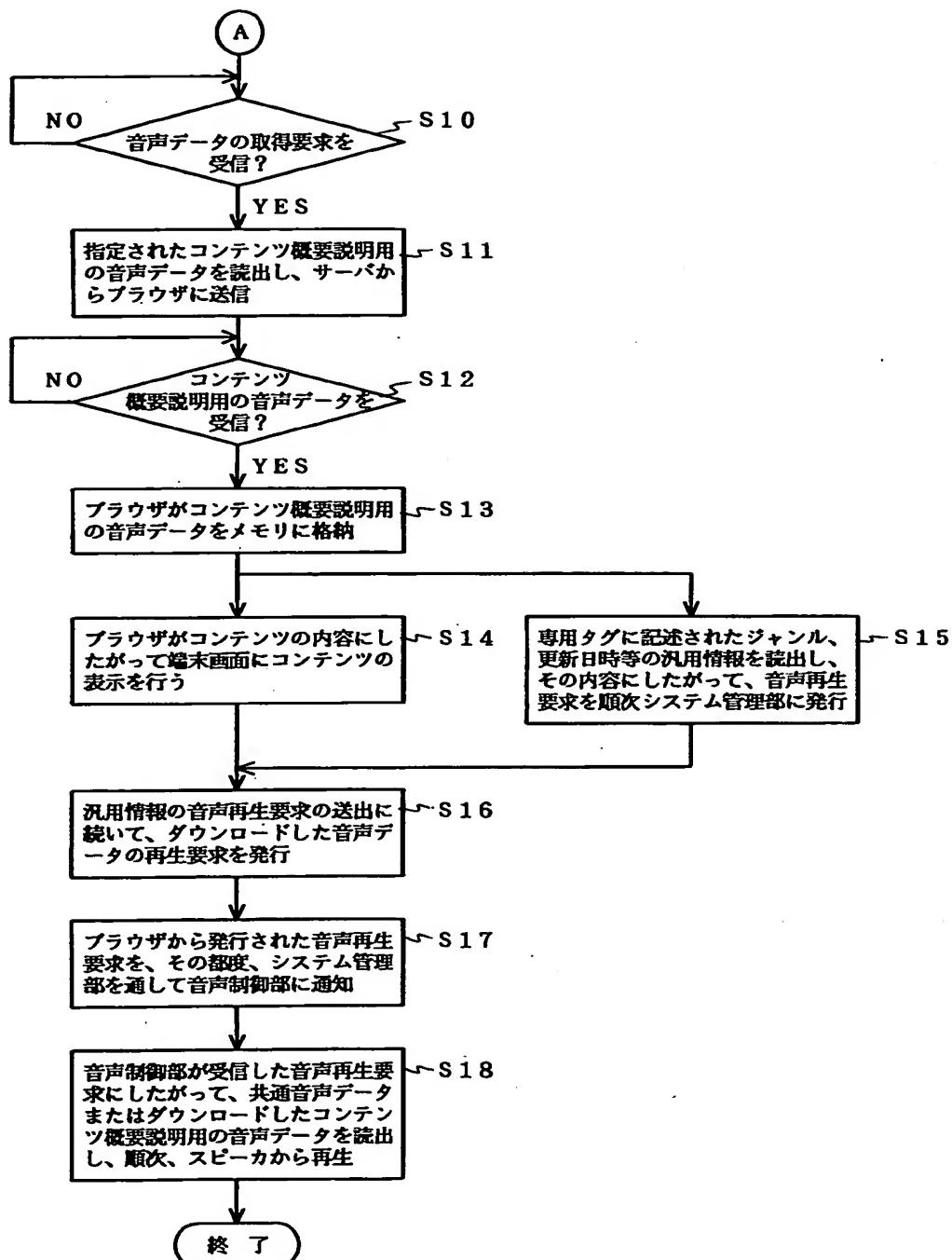
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

```
<HTML>
<HEAD> コンテンツ</HEAD>
<BODY>
<CENTER><IMG SRC="top.gif" ALT=" コンテンツ1 トップページ"></CENTER>
<BR>
<専用タグ SRC="gaiyou.adpcm" hinfl="computer" hinf2="music" hinf3="mp3"
hinfdtate="2000/10/26">
<BLOCKQUOTE>
<OL>
<L1><A HREF="cmenu1.html"> コンテンツメニュー1</A>
<L1><A HREF="cmenu2.html"> コンテンツメニュー2</A>
<L1><A HREF="cmenu3.html"> コンテンツメニュー3</A>
</OL>
</BLOCKQUOTE>
</BODY>
</HTML>
```

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 コンテンツの概要を容易に理解可能とし、スムーズにコンテンツが閲覧可能なコンテンツ閲覧システムを提供する。

【解決手段】 ブラウザ2はインターネットアクセス操作が行われると、HTTPサーバ11にHTMLドキュメントの取得を要求する。HTTPサーバ11はその要求を受けると、コンテンツ14を読み出して端末装置に送信する。ブラウザ2は受信したコンテンツ14を解釈し、コンテンツ14の概要説明用の専用タグがあれば、HTTPサーバ11にコンテンツ概要説明用の音声データ15の取得要求を送る。HTTPサーバ11はその取得要求を受けると、指定された音声データ15を読み出し、ブラウザ2に送信する。ブラウザ2側ではその音声データ15をメモリ6に格納し、ダウンロードした音声データ15の再生要求を発行する。音声制御部9は音声データ15を再生してスピーカ10から出力する。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000197366]

1. 変更年月日 1999年 4月 1日

[変更理由] 住所変更

住 所 静岡県掛川市下俣800番地
氏 名 静岡日本電気株式会社

2. 変更年月日 2001年 11月 9日

[変更理由] 名称変更

住 所 静岡県掛川市下俣800番地
氏 名 エヌイーシーアクセステクニカ株式会社